

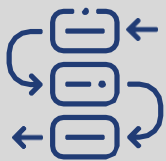
CRAの全体的な認識度は低く、62%がCRAについて「まったく認識してない」または「ほんの少し認識している」と回答しています。



51%がCRAの期限について不確かであり、全面遵守の目標年が2027年であることを正しく認識していたのは、わずか28%でした。



システムインテグレーター、コンサルタント、および関係者は、CRAによって割り当てられた役割や責任に完全には適合しません。



製造業社のほぼ半数(46%)は、セキュリティ修正のために上流のOSSプロジェクトに受動的に依存しています。

OSSプロジェクトに積極的に参加している組織は、受動的なOSSユーザーと比較して、オープンソースプロジェクトのセキュリティ実践を約2倍高く評価しています。



スチュワードの74%は、セキュリティポリシーを定めて、サイバーセキュリティの問題に取り込み、報告しています。

SBOMを作成しているスチュワードは32%に過ぎませんが、59%は自動依存関係追跡を使用しています。



非営利のOSS開発を行う開発者のうち、17%が自分の貢献にCRAが適用されると誤って認識しており、59%が影響を受けるかどうか分からないと回答しています。

CRAは平均6%の価格上昇を促進すると予想されていますが、製造業者の53%はまだ価格への影響を評価しています。



製造業者にとって最大の懸念事項は、法的な複雑さと、サプライヤーやOSSプロジェクトからのコンポーネントの安全性確保です。



スチュワードの62%は、迅速にインシデント対応するための専任の人員やリソースが不足しています。



経済的支援(50%)、法的指導(47%)、および技術リソース(44%)は、スチュワードのCRA要件を満たすために最も必要です。

